

『子どもにツケを残さない!』『環境未来都市の実現!』  
所沢市議会議員 谷口まさのり発行

Facebook で細かく情報  
発信しております!

## 谷口まさのり 所沢市政レポート

『2017年3月議会報告編』

連絡先: 〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話: 04-2941-5111 / FAX: 04-2941-5112

・メール: [tani.eco@dream.ocn.ne.jp](mailto:tani.eco@dream.ocn.ne.jp)

・Twitterも頑張ってます!! 『谷口まさのり』で検索下さい!



子どもにツケを  
残さない!!



### 谷口 まさのり

- ①大きく踏み出す! 旧水道庁舎の敷地の利活用(4年前の『提案』が実現へ!)
- ②『子供の貧困対策』を訴える! ③放課後児童対策を取上げ!(質疑及び一般質問)
- ④議員期末手当のアップ分の差額(100,800円)を法務局に供託(預け)完了

上述の質疑及び一般質問(3/8)の詳細は所沢市議会HPの中継録画をご覧ください。

#### 1) 『(不本意な) 高校中退を防がなきゃ!』(貧困の連鎖防止を訴える!)



←谷口: 荒川区、足立区等、先進的に『子どもの貧困』対策に取り組んでいる自治体があり、近隣では武蔵村山市が昨年4月より組織横断の連絡会議を設置し子供の貧困に関する実態把握方法の検討を開始、更に埼玉県の富士見市は昨年7月にアンケート調査を実施済みで、支援計画を現在策定中である。このような中で所沢市も準ずる動きをすることを考えていないのか?

**担当部長:** 所沢市としては現在でも関連部署で連携を図っている。紹介(言及)された他の自治体の調査結果が政策にどう反映されていくか、またその効果を確認の上、判断していきたい。



←谷口: 昨年度、142名の生活保護(以下、生保)家庭の高校生の内、8名が途中で高校を退学し、退学率は5.6%であった。生保世帯の子どもが経済的な自立への大きな一歩を踏み出せる1つのモデルとしては、高校を中退せず、進級、卒業し、正規職員として就職することであると考える。このような中で、例えば、『高校中退防止対策チーム』を結成し、生保世帯の高校生の中退防止、卒業、就職(進学)支援に重点的に取り組んではどうか?



**担当部長:** 埼玉県において、中退防止に向けた、スクールソーシャルワーカーや相談員の配置等、様々な取り組みが行われているので、(所沢市としては)現段階では考えていない。



←谷口: 大学等への進学意欲が高い、生保家庭の高校生に対しては最初から進学を諦めるのではなく、生保家庭であっても、様々な工夫(奨学金活用その他の方法)、努力をすることにより、大学等に進学、卒業、就職することが実現できている事例を、現状よりも早い時点でキメ細かく伝え、将来への展望をもって生活してもらい、そして将来の経済的自立により繋がるような対応をしてはどうか?

**担当部長:** 現在は進学希望の世帯に支援制度等を説明しているが、今後は高校に進学した子ども自身にも(直接)情報が届くよう、情報提供の方法等を検討していきたい。

これからも『子どもの貧困』対策については、谷口自身の重点テーマとして取り組んでまいります!

裏面へ

## 2) ようやく提案が実現へ！収入が期待できる！『旧水道庁舎』敷地の利・活用



私は平成24年度決算特別委員会において、『旧水道庁舎敷地』について、(水道)事業用で使わない部分があれば、売却等も念頭に置き、敷地全体の資産価値について質問し、その後、本件を取り上げてまいりました。そのような中、市執行部側で検討を重ね、今回の3月議会において、旧庁舎の解体工事の設計費等が可決されました。今後平成30年度に解体工事、平成31年度から敷地の貸付け開始を予定しております。(現時点で年間950万円前後の貸付け金額を想定)、市として資産を有効活用しながら、新たな収入を得られる事業になります。

## 3) 『まずは子供の安全を第一！』放課後児童対策の早期の全体最適化に向けて

共働き家庭が増える中、小学生児童が放課後、安全に過ごす為、学童クラブ(放課後児童クラブ)等に希望者全員が入れるよう、また定員の150%を超える狭隘(きょうあい)化が激しい学童クラブについては、定員の拡大(具体的には民設・民営学童の拡大、児童館生活クラブでの定員拡大、小学校内での学童クラブ設置推進等)を念頭に、本議会で今後の課題について取り上げました。私自身も当時(17年前)、息子を学童クラブに預けた経験があり、働く親にとって、『学童クラブ』は無くてはならないと実感しており、この課題の早期全体最適化を目指して今後も活動してまいります。

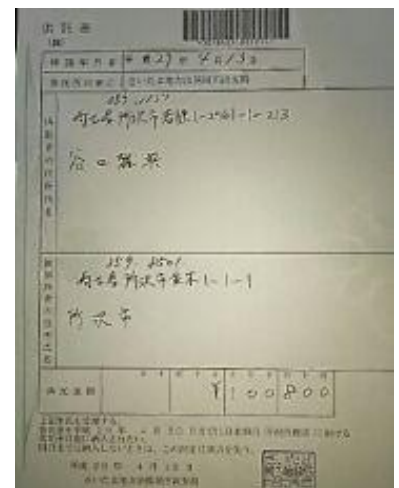
## 4) アップ分の差額『100,800円』、法務局への供託を完了

前回の活動レポートで詳細はお伝え致しましたが(谷口まさのりHPに掲載中)、昨年12月議会で、所沢市議会議員の期末手当(民間で言えば賞与)が当時年間で4.15ヶ月支給であったものを4.3ヶ月にアップする内容(平成20年度時点の4.3ヶ月支給から平成21年度に4.15ヶ月に下げて以降、既に7年度継続していたものをアップ)を含む議案が可決されました。

(私、谷口は反対致しました。)

私の主な反対理由は次の通りでした。

『所沢市は今後中期的に「超高齢社会」が続き、社会保障関連費用の更なる増大が容易に予想され、財政は明らかな好転が見込みにくい。このような中で、今後も「痛み」「不利益変更」といったことを所沢市民の皆様へ受け止めて頂かざるを得ない場面があり、そのような痛みを伴う内容の議案も議決せざるを得ない議員の立場としては認められない。』ということ。



(画像は不鮮明ですが、供託書写真↑)

前回の活動レポートで発信した通り、アップ分の差額の100,800円は法務局との複数回の打合せを経て、さいたま地方法務局 所沢支局に、この度、供託(お金を預けること)することを完了しましたので、本紙面にて報告させていただきます。

◆谷口まさのり経歴・昭和40年北海道生まれ、埼玉大学工学部 環境化学工学科卒業・環境や省エネ企業に15年間在籍・1997地球温暖化防止京都会議に参加・2011年4月所沢市議選に初当選、現在2期目・趣味等：スポーツ(西武ライオンズファンクラブ会員)、カオク、ガトムン採り、大のビール党、日課はメダカのイサやり・環境カウンセラー(環境省資格)/社会保険労務士(年金と雇用の関連資格)/認知症サポーター★駅では原則、始発前からレポートを配布しており、『始発の谷口』『始発男』と言われております。